

審査員プロフィール



神武直彦 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 准教授

慶應義塾大学大学院理工学研究科修了後、宇宙開発事業団入社。欧州宇宙機関研究員を経て、宇宙航空研究開発機構主任開発員。2009年度より慶應義塾大学准教授。地域から地球規模までの多様な課題を対象に、ファシリテーションとデータサイエンスを活用し、システム思考とデザイン思考に基づいた課題解決に取り組む。Multi-GNSS Asia 運営委員、高精度衛星測位サービス利用促進協議会アドバイザー、日本スポーツ振興センターマネージャー、アジア工科大学招聘准教授。博士(政策・メディア)。「位置情報ビッグデータ」「アイデアソンとハッカソンで未来を作る」(インプレスR&D社)など著書・論文多数。



庄司昌彦 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授、オープンデータ伝道師

国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)准教授のほか、一般社団法人オープン・ナレッジ・FOUNDATION・ジャパン(OKJP)代表理事や一般社団法人インターネットユーザー協会(MIAU)理事を務める。平成28年3月30日、オープンデータ活用による社会課題解決に対する積極的な取組と実績が評価され、内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室より、「オープンデータ伝道師」として任命。



村上文洋 三菱総合研究所 主席研究員、オープンデータ伝道師

1960年愛知県生まれ。名古屋大学工学部建築学科卒業。一級建築士。地域設計研究所、エイ・エス・ティを経て、1988年三菱総合研究所入社。政府の電子行政オープンデータ戦略策定などに関わる。IT総合戦略本部 電子行政分科会構成員、データ流通環境整備検討会 オープンデータワーキング構成員。オープンデータ伝道師のひとり。専門は、電子行政、オープンデータ、ユニバーサルデザイン。

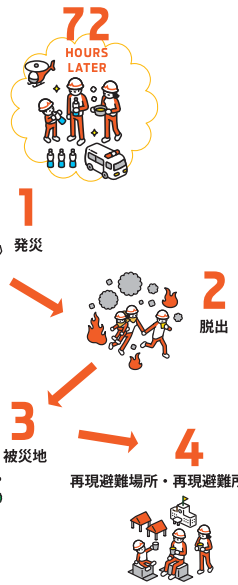
その他の審査員

東京臨海広域防災公園管理センター長 他



東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



1F 防災体験ゾーン



東京人直下7.2
地震発生後72時間の生存力をつける、体験学習ツアー
タブレット端末を使って「防災クイズ」に挑戦、「AR体験」で危険箇所を確認
音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、タブレット端末を使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。街の映画館では首都直下地震の再現CG映像を上映しています。

ご利用案内

- 【東京臨海広域防災公園】**
 - 開園時間 午前6時～午後8時(12/31～1/1 休園)
 - 入園料 無料
- 【そなエリア東京】**～防災体験学習施設～
 - 利用時間 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
 - 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)
※年末年始及び臨時休館日があります
 - 入場料 無料

【ご利用に関するお問合せ】
東京臨海広域防災公園 管理センター
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
TEL: 03-3529-2180 FAX: 03-3529-2188
(運営管理: 西武池袋線・NHKアートパートナーズ)



東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。
※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用できません。
平常時には、花と緑があふれる国営公園(6.7ha)と都立公園(6.5ha)が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、休憩・休息の場として広くお客様に使って頂ける公園です。公園外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たりながら、季節感を感じることもできる、心地よい空間です。広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。